

J R 四国労組ニュース

令和2年2月25日（No.16）

発行責任者／大谷 清

編集責任者／武智 義治

「組織改正」について

J R 四国労組は、2月12日に開催された経営協議会において、3月1日に実施する「組織改正」について会社から説明を受け協議を行った。

【地域連携室を四国国家連携部に改組】別紙－1

四国に根ざした企業グループとして、地域社会との連携を一層強化するため、総合企画本部地域連携室を設置して以降、地方公共団体の他、産、学、金等との連携・協働による地域活性化に取り組んできた。

加えて、観光ツーリズム産業を地域活性化、収入基盤強化の取り組みと位置づけ、コンテンツ開発、基盤づくりを推進していく中で、インバウンド戦略との一体的な推進を図ることが重要となっているため、インバウンド関連業務に取り組んできた総合企画本部受入PTを地域連携室に移管し、部に改組することで、より一層の連携強化を図ることとする。

【ものがたり列車推進室、時代の夜明けのものがたり企画室の新設】別紙－2

現在、営業部販売促進課が所管する「ものがたり列車に関する業務」を営業部内に新たに設置する「ものがたり列車推進室」へ移管し、2020年4月に運行を開始する「志国土佐 時代の夜明けのものがたり」も含めた3つのものがたり列車を包括的に管理するとともに、これまで以上に地域との連携を強化し地域活性化を図ることで、ものがたり列車の更なるPR強化・鉄道利用促進につなげる。

【高松駅ビル準備室の新設】別紙－3

新高松駅ビルの開発を円滑かつ効率的に推進するため、事業開発本部内に高松駅ビル準備室を新設する。

＜説明に対する主な質疑（要旨）＞

組 合：組織改正の時期を新年度4月1日ではなく3月1日としたのはなぜか。

会 社：今回の組織改正に関する内容は2020年度事業計画に盛り込まれる予定であるが、この部分に関しては早めには実施することとした。

組 合：高松駅ビル開発の計画はどのようなになっているのか。

会 社：現在概要を検討しており、今後の計画等は未定である。

以 上

別紙－１

組織改正について

２０２０年２月

J R 四 国

四国に根ざした企業グループとして、地域社会との連携を一層強化するため、2012年6月1日より総合企画本部地域連携室を設置した。以降、地方公共団体の他、産、学、金等との連携・協働による地域活性化に取り組んでいる。

加えて、観光ツーリズム産業を地域活性化、収入基盤強化の取り組みと位置づけ、コンテンツ開発、基盤づくりを推進していく中で、インバウンド戦略との一体的な推進を図ることが重要となっている。

このため、インバウンド関連業務に取り組んできた総合企画本部受入P Tを地域連携室に移管し、部に改組することで、より一層の連携強化を図ることとする。

1 内容

- (1) 地域連携室を総合企画本部から独立し、四国家連携部とする。
- (2) 総合企画本部内の受入P Tを同組織に移管する。

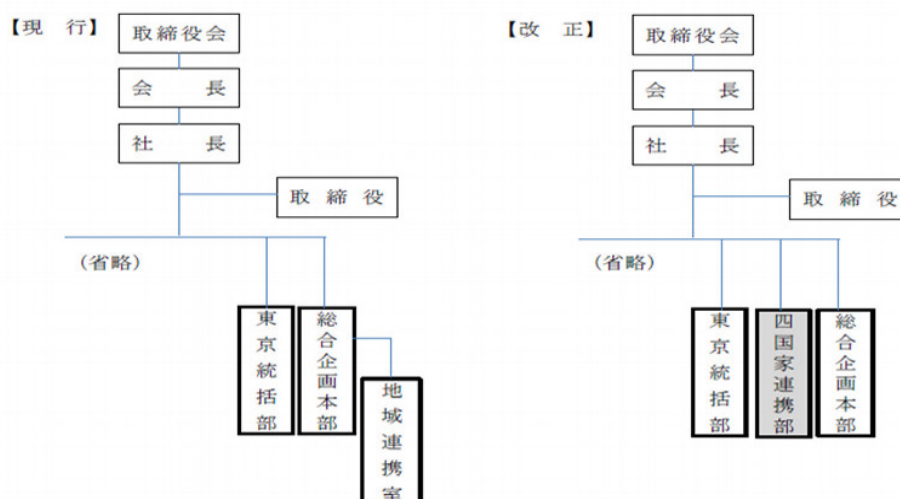
2 所管業務

- (1) 産官学金など関係機関と連携・協働して行う地域活性化に関すること
- (2) 観光ツーリズムにおけるコンテンツ開発、基盤づくりに関すること
- (3) J R 四国グループを挙げたインバウンド戦略に関すること
- (4) 地域振興に資する文化、スポーツ活動及び、イベント等に関すること

3 実施日

２０２０年３月１日

4 組織の現改比較



別紙－2

組織改正について

2020年2月
J R 四 国

現在、営業部販売促進課が所管する「ものがたり列車に関する業務」を営業部内に新たに設置する「ものがたり列車推進室」へ移管し、各ものがたり企画室を配下に据えることにより、2020年4月に運行を開始する「志国土佐 時代の夜明けのものがたり」も含めた3つのものがたり列車を包括的に管理するとともに、これまで以上に地域との連携を強化し地域活性化を図ることで、ものがたり列車の更なるPR強化・鉄道利用促進につなげる。

1 内容

ものがたり列車推進室、時代の夜明けのものがたり企画室を営業部内に新設する。

2 所管業務

(1) ものがたり列車推進室

ア ものがたり列車の基本計画、増収施策及び沿線地域、関係機関との連携、調整に関すること。

イ 各ものがたり企画室の管理・調整に関すること。

(2) 時代の夜明けのものがたり企画室

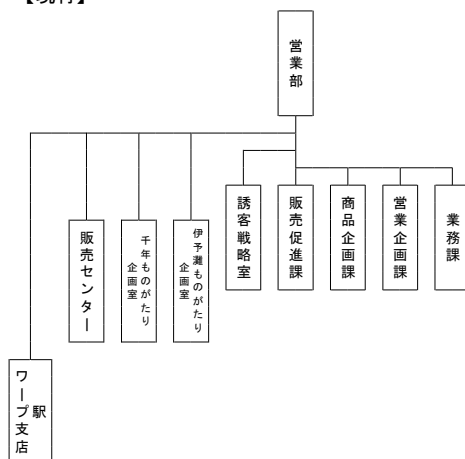
時代の夜明けのものがたりの運行に関すること。

3 実施日

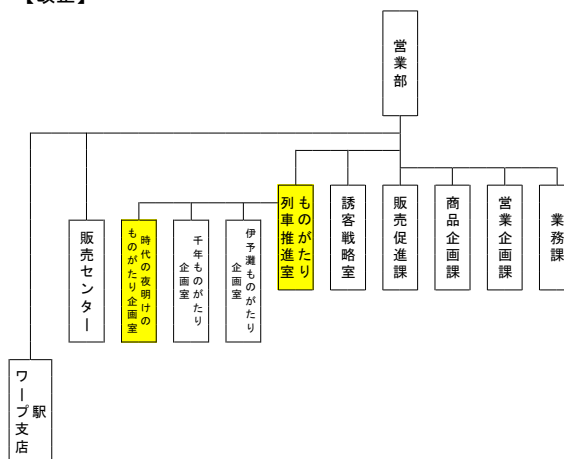
2020年3月1日

4 組織の現改比較

【現行】



【改正】



別紙-3

組織改正について

2020年2月

J R 四 国

新高松駅ビルの開発については、現在その概要を検討しているが、基本的には当社が開発主体となる見通しであり、投資額が大きく当社にとって極めて重要なプロジェクトである。ついては、新高松駅ビルの開発を円滑かつ効率的な推進体制とするため、事業開発本部の組織を見直すこととする。

1 内容

新高松駅ビルの開発を円滑かつ効率的に推進するため、事業開発本部内に高松駅ビル準備室を新設する。

2 所管業務

(1) 高松駅ビルの開発に係わる次の事項に関すること

ア 整備計画全般の策定に関する事項

イ 駅ビルの設計、施工その他建設に関する事項

ウ 駅ビルに入居するテナント等の計画、調整その他開業準備に関する事項

(2) 上記に係わる対外折衝等の調整協議に関すること

(3) 所管業務に関する関係機関等への許認可申請、届出に関すること

3 実施日

2020年3月1日

4 組織の現改比較

